

島中だより

教育目標
 学ぶ意欲にとみ
 心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
 TEL 83-2011
 文責 校長 竹花 和人

夢や志の実現のために頑張り続けよう

校長 竹花 和人

※2月2日(火) 全校朝会での講話より

ついこの間3学期が始まったと思ったら、今日はもう2月です。あっという間に3学期は終わってしまいますね。

昨日(2月1日)は、新入生保護者説明会があり、親1年生(小学校6年生)が本校に来て、学校生活についての説明を聞いたり、授業の様子を見学したりしていました。その姿を見ていて、現在の1年生は本当に成長したなあと、実感しました。そして、新1年生たちは、皆さんの姿を見て「ああいう中学生になりたい」と思ったようです。1年生だけでなく、2、3年生もこれまでの成長や頑張りに自信をもってほしいと思います。

また、八戸市内では「インフルエンザ注意報」が出されています。残念ながら本校でも先週1名の生徒がインフルエンザで休みました。幸いなことに、他の生徒には広がりませんでした。3年生は受験がありますので、誰一人インフルエンザにかからないよう気を付けてほしいと思います。皆さんは、インフルエンザの予防で大切なことを知っていますか？ ①手洗い ②うがい ③マスクですね。また、3年生は人込みを避けることも大切です。万全の状態でするようにしましょう。

さて、皆さんは「カップヌードル」を知っていますか。今日は「カップヌードル」や「チキンラーメン」の生みの親である安藤百福さんの「目標をもったら、あとは執念だ」という言葉を紹介します。

安藤さんは、第二次世界大戦終了後の日本で、小麦粉を使った食品づくりをしようと考え、簡単に調理できる麺としてのインスタントラーメンの研究を行い、「チキンラーメン」を発明します。そして、これを海外でも販売しようと、チキンラーメンを実際に持って行って食べてもらおうとしたときに、紙コップにチキンラーメンを割ったものを入れてお湯を注ぐ姿を見て、カップヌードルをつくることを思い立ち、発売しました。

この安藤さんが、チキンラーメンやカップヌードルの発明を振り返って述べた言葉が「明確な目標を定めた後は、執念だ。ひらめきも執念から生まれる。」です。何度失敗してもあきらめず、チキンラーメンやカップヌードルをつくるまでやり通した経験を述べた言葉です。

3年生は、このあと私立高校入試・県立高校入試がやってきます。12月に目指す進路を決定してから勉強を頑張ってきたと思いますが、手ごたえを感じられずあきらめなくなっている人もいるでしょう。しかし、ここで頑張り続けると、3月になると勉強してきたことの手ごたえが感じられるようになるものです。そのことを信じて、頑張り続けるしかありません。また、2年生は来年受験を迎えます。ぜひ3年生が頑張っている姿をしっかりと見て、来年は自分も頑張ろうという気持ちをもってください。1年生はまだまだ先のことで、実感がわかないかもしれませんが、それでも先輩の姿から何かを感じてほしいと思います。

目標をもったら、あとは執念だ

生徒の主体的活動が増えています

2月1日(月)に平成28年度の新入生とその保護者を対象にした説明会を行いました。その中で、生徒会役員による「学校生活の紹介」がありました。生徒会役員たちは、パソコンを使って授業や学校行事などの様子を説明したり、自らがモデルとなって制服の着こなし方を説明したりするなど、新入生に分かりやすく工夫をして説明していました。

また、2月5日(金)の生徒朝会では、受験激励会が行われました。3年生一人一人へ向けた温かいメッセージや、パソコンでのスライドに合わせた歌やメッセージなど、こちらも生徒たちが工夫した内容となっていました。

後期の生徒会活動・委員会活動は、このように生徒たちの主体的な活動が増加しています。特に、中心となって取り組んでいる2年生は、勉強や部活動との兼ね合いで忙しい思いをしていると思いますが、このような取組により確実に成長していることが感じられます。これからも、島守中をより良い学校とするような生徒の主体的活動が増加することを期待しています。



市連合PTAからの表彰

2月5日(金)に八戸市連合PTA臨時代議員総会が行われました。その中で、長年PTA活動に取り組んでこられた方々の表彰式があり、本校では山田正子さんが表彰されました。山田さんは、本校のPTA副会長を務められるなど、本校の教育活動やPTA活動に協力していただきました。長い間、本当にありがとうございました。



お知らせ

新聞報道等で御承知のことと思いますが、田代小・中学校が平成28年度をもって閉校することとなりました。そのため、田代小・中学校の児童生徒は、平成29年4月からは島守小・島守中に入學・通学することとなります。統合までのスケジュールなど詳しいことは、具体的なことが決定したら改めてお知らせします。

マイナスの感情はもつな

林成之氏の「脳に悪い7つの習慣」から、今回も『好きじゃない』などマイナスの感情はもつな』ということについて一部を紹介します。

このことからわかるのは、理解力、思考力、記憶力などの脳の力は、どれも最初の「感情」によってそのパフォーマンスが左右されるということ。一度、マイナスのレッテルを張られた情報は、しっかり理解できず、思考が深まらず、記憶もしにくくなってしまいます。

試験に向けて勉強するとき、仕事に取り組むとき、スポーツをするときなどに、最初から「おもしろくない」「好きになれない」と思ってしまうことはありませんか？

一度、A10神経群で「嫌い」というレッテルが張られてしまうと、脳はその情報に関して積極的に働かなくなります。能の理解力や思考力、記憶力を高めるには、まず「おもしろい」「好きだ」というレッテルを張らなければなりません。(p24より抜粋)

私たち教師は、生徒の皆さんに授業や学校、そして先生方に対してマイナスの感情をもたず、「授業が楽しい」「学校や先生方が好きだ」と思ってもらえるよう、これからも頑張ります。